



林野タミさんからの寄付金を山内隆文市長に笑顔で手渡す橋場さん（中央）

海外の市出身者が寄付

感謝の気持ち込め

山根町出身でパラグアイ共和国在住の林野タミさんが市に5,000米ドル（約50万円相当）を寄付。林野さんの育ての親が入所していた市の養護老人ホームへの感謝の気持ちを込めたもので、8月に県の郷土芸能使節団が南米を訪問した際、林野さん宅に民泊した同使節団の橋場昭喜治さん（岩泉町）が預かり、11月8日に市に届けました。

義援金、寄付金

熱い支援に感謝

寄せられた義援金

1,167件

8,955万6,467円

（11月10日現在）

全国各地から義援金、寄付金が寄せられました。ご支援ありがとうございます。

10月11日～11月10日受付分
（敬称略）

義援金

- 県外
 - 【東京都】 ▶ 五味秀春
 - 【神奈川県】 ▶ 神林洋行
- 市内
- 【団体】 ▶ 久慈中学校吹奏楽部

寄付金

- 県外
 - 【秋田県】 ▶ 近藤吉典・慶子
 - 【山形県】 ▶ 戸田千和
 - 【埼玉県】 ▶ 城野口有吉
 - 【東京都】 ▶ 森謙次
- 海外
 - 【パラグアイ】 ▶ 林野タミ
- その他
 - ▶ 復興支援・住宅エコポイント復興寄付 ▶ 匿名2件

第18回久慈もぐらんぴあ駅伝競走大会

つなぐたすきに思い込め



勢いよくスタートする選手たち

11月3日、第18回久慈もぐらんぴあ駅伝競走大会（同大会実行委員会主催）が久慈国家石油備蓄基地前の交差点を発着点とする18・4kmのコースで開催。中学校男女、高校男女、一般2部門、計6部門に74チーム630人の選手が出場しました。

開会式では上山翔馬さん（宇部中3年）が「たすきに

仲間への思いを込め、支えてくれた人への感謝を胸に、一杯走りきります」と力強く宣誓。開会式終了後、ピストルの合図で第一区の走者がスタートしました。沿道から拍手と声援を受け、選手たちはゴールをめざして一生懸命にたすきをつなぎました。

中学男子の部で初優勝した三崎中学校Aチームの小田敬大さん（2年）は「『一人一秒縮める』を合言葉に練習を重ね、優勝を目標に参加しました。最終区間で逆転し、優勝できとてもうれしいです」と喜びを語りました。

駅伝各部門の第1位は次の通り（市関係分、敬称略）。

【中学男子】三崎中学校A（高校女子）久慈高校（一般四区間）(有)ケアサポートホソタ

大畑吉郎さんと中平ミヨさんが長寿祝い

ご長寿おめでとございます



半生を振り返り、思い出を語る大畑吉郎さん

長寿の秘訣は食事

10月23日に100歳の誕生日を迎えた大畑吉郎さん（中町）の長寿祝いが25日、自宅で行われました。

大畑さんにお祝い状と祝いを手渡し、山内隆文市長は「長寿日本一を目指してください」と祝福しました。

大畑さんは若い頃から大工の道歩み、30代後半から市内で建設業を営んできました。長寿の秘訣は家族と同じ食事を取ることと話す大畑さん。この3年は介護サービスや病院を利用していないそうです。今年の6月にひ孫が生まれ、楽しみが一つ増えたと笑顔で話していました。

元気で長生きを

11月5日、中平ミヨさんが100歳の誕生日を迎え、入所する特別養護老人ホームぎんたらす久慈で長寿祝いが行われました。



お祝いに訪れた家族と中平ミヨさん（中央）

中平さんに山内市長からお祝い状と祝いが手渡され、同施設からは記念の花束が贈られました。

中平さんは縫い物が得意で、以前は近所から頼まれ、着物などを作っていたそうです。

長男の中平賢一さんは「体調を崩したこともありましたが、この歳までよくがんばったと思います。これからも元気で長生きしてほしいです」と母の労をねぎらいました。

久慈小学校で「JFA・キリンスマイルフィールド」

挑戦し続ける心を学ぶ



児童と笑顔で教室を楽しむ福田正博さん（中央）

東日本震災の復興支援活動としてサッカーを通じて子どもたちに笑顔を届ける「JFA・キリンスマイルフィールド」（キリングループ主催）。11月5日、サッカー元日本代表の福田正博さんが久慈小学校（後忠美校長、児童650人）を訪れ、3年生の児童115人と交流を深めました。

コーチらの自己紹介に続き、福田さんと児童たちは「しっかりと話を聞くこと」「とにかくチャレンジすること」「笑顔顔を忘れないこと」を約束し、教室がスタート。2人組になり、互いに相手のおしりを触ろうとするゲームでフェイントの基本を学んだほか、ボールを高く投げ上げ、たくさん手をたたきゲームなどで体をほぐしました。その後、児童はいくつかのチームに分かれてコーチチームとサッカーのミニゲーム。一生懸命にボールを追いかける仲間を、出番を待っている児童たちは元気に応援していました。



「コーチからボールを奪え〜！」一生懸命に福田さんを追いかける女子児童たち

教室の最後に福田さんは「あきらめずに挑戦を続けられ、夢・目標はかかります。笑顔で楽しく、目標に向かって努力していこう」と児童たちにエールを送りました。

戸澤麗士くんは「かつこい福田コーチと、ボールを使っていろいろなゲームができて楽しかったです」と満足した表情を浮かべました。

市消防団第7分団1部2班（国坂）の屯所が移転新築し、10月28日に完成。旧屯所は築40年以上が経過しており、建物の周りにスペースがないなどの理由から、移転改築が進められていました。

11月17日、屯所前で開所式が開かれ、地元消防団や関係者、地元住民など約40人が出席しました。山内隆文市長や



真新しい屯所へポンプ車が初入庫

門ノ澤正浪市消防団団長など6人がテープカットを行い、地域の安全・安心を守る活動拠点の完成を祝いました。

開所式後には、くにさか公民館で落成記念祝賀会を開催。山内市長が祝辞を述べ、日ごろの活動をねぎらい、今後のさらなる活躍を期待しました。生平末造分団長は「屯所の完成を契機に、地域住民の期待に応えられる活動を一層進めたい」と話し、地域防災活動の強化を誓いました。

屯所の概要

- 所在地…夏井町夏井 9-35-4
- 構造…木造平屋建て
- 延床面積…52.17㎡
- 工期…平成25年7月5日～10月28日
- 事業費…484万円